

# ドラッグインフォメーション

平成 18 年 4 月改訂

販売名	グリセリン「コザカイ・P」		発売	吉田製薬株式会社								
局方名	日本薬局方 グリセリン		製造販売	小堺製薬株式会社								
洋名	Glycerin		発売年月	1961年1月								
一般名	グリセリン		日本標準商品分類番号	872357								
剤形	液 剤		規制区分	一般用医薬品								
構造式	$\begin{array}{c} \text{CH}_2\text{OH} \\   \\ \text{CHOH} \\   \\ \text{CH}_2\text{OH} \end{array}$		性状	<p>本品は無色透明の粘性の液で、においはなく、味は甘い。 水又はエタノール(95)と混和する。 ジエチルエーテルに極めて溶けにくい。 吸湿性である。</p>								
組成	本品はグリセリン(C <sub>3</sub> H <sub>8</sub> O <sub>3</sub> )84~87%を含む(比重による)。											
効能・効果	外用	ひび・あかぎれ										
	浣腸用	便秘										
用法・用量	外用	脱脂綿・ガーゼ等に浸して患部に軽く塗る。										
	浣腸用	<p>本剤を常水で2倍に希釈し、浣腸器を用いて直腸内に注入する。 注入量は希釈後の溶液の量として次の通りとする。</p> <table border="1"> <tr> <td>12歳以上</td> <td>1回30mL</td> </tr> <tr> <td>6歳以上12歳未満</td> <td>1回20mL</td> </tr> <tr> <td>1歳以上6歳未満</td> <td>1回10mL</td> </tr> <tr> <td>1歳未満</td> <td>1回5mL</td> </tr> </table> <p>1回量を直腸内に注入し、それで効果のみられない場合には、さらに同量をもう一度注入する。</p>				12歳以上	1回30mL	6歳以上12歳未満	1回20mL	1歳以上6歳未満	1回10mL	1歳未満
12歳以上	1回30mL											
6歳以上12歳未満	1回20mL											
1歳以上6歳未満	1回10mL											
1歳未満	1回5mL											
薬効薬理	<p>本品の濃厚溶液は水分を奪取することにより、局所を刺激し、もしくは菌の生活機能を障害するため防腐作用があるが、希薄溶液の刺激は緩和で局所を軟化する。直腸粘膜を刺激して排便を促す(疼痛やけいれんを起こさず、2~5分で直腸内容物を排泄する)目的で浣腸剤とし、また局所を包摂保護し、外部刺激を緩和し、もしくは有害物の侵入を防止する目的で外用する。</p>											
使用上の注意	外用	<p>用法・用量に関連する注意</p> <p>(1) 外用にのみ使用し、内服しないこと。 (2) 目に入らぬように注意し、万一目に入ったときは、すぐに水又はぬるま湯で洗い流すこと。 (3) 小児に使用する場合には、特に注意し、保護者の指導監督のもとに使用すること。</p>										
	浣腸用	<p>してはいけないこと [守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる] ・連用しないこと [常用すると、効果が減弱し(いわゆる“なれ”が生じ)薬剤にたよりがちになる]</p> <p>相談すること</p> <p>1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談すること</p> <p>(1) 医師の治療を受けている人 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる婦人 (流産の危険性があるので使用しないことが望ましい) (3) 1歳未満の乳児 (4) 高齢者 (5) 次の症状のある人・・・はげしい腹痛、悪心・嘔吐、痔出血 (6) 次の診断を受けた人・・・心臓病</p>										

使用上の注意	浣腸用	<p>2. 次の場合は、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること 2～3回使用しても排便がない場合</p> <p>その他の注意 次の症状があらわれることがある・・・立ちくらみ、肛門部の熱感、不快感</p> <p>用法・用量に関連する注意  (1) 定められた濃度に希釈して、よくかき混ぜること。  (2) 本剤使用後は、便意が強まるまで、しばらくがまんすること。  (使用後、すぐに排便を試みると薬剤のみ排出され、効果がみられないことがある。)  (3) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。  (4) 特に乳幼児の場合には、安易な使用を避け、浣腸にたよりすぎないように注意すること。  (5) 浣腸にのみ使用すること。  (6) 浣腸器を無理に挿入すると、直腸粘膜を傷つけるおそれがあるので注意すること。</p>
保管及び取扱上の注意		(1) 小児の手のとどかない所に保管すること。 (2) 直射日光をさけ、なるべく涼しい場所に密栓して保管すること。 (3) 誤用をさけ、品質を保管するために、他の容器に入れないこと。 (4) 希釈するための容器は清潔なものを使用すること。 (5) 使用残液は捨てること。
その他		<p>[便秘しがちな人のために]</p> 1. 規則的な排便の習慣をつけることが大切で、毎日時間をきめて一定時間トイレに入るよう心がけること。また、便意をもよおしたときは、がまんせずトイレに行くこと。 2. 繊維質の多い食物と水分を多くとるように心がけること。 (例：野菜類、果物、コンニャク、カンテン、海藻など) 3. 適度な運動、腹部マッサージ等を行うよう心がけること。 4. 早朝、起きがけに冷たい水または牛乳等を飲むと便意をもよおしやすくなる。
備考		包装単位：100 mL
文献請求先		吉田製薬株式会社 学術部 東京都中野区中央5-1-10 TEL (03)3381-7291